

# 令和元年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

## 図画工作

| 学年 | 指導上の成果と課題の分析  | 授業改善の具体的な方策  |
|----|---|--|
| 1年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら活動に取り組み、作業手順など正しく守って作っている。友達と自分の世界やアイデアについて話しながら、想像を膨らませている。<br/>【関心・意欲・態度】</li> <li>・クレヨンや色鉛筆での塗りつぶしなどは、丁寧にできている。一部の児童は、ハサミが上手に使用せずに作品を傷めてしまうことがあり、個人差がある。<br/>【技能】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の見本を見せてイメージをもたせたり、逆に見本を見せずに自分で考えさせたりして、作業への意欲を高める。より多様な作品を作れるよう、鑑賞の時間を設け、互いのよいところに気付かせる。</li> <li>・ハサミ、のりなどは日頃から使う道具なので、他教科や生活の中で道具を扱う際には、丁寧に指導を行い、苦手な児童には特に注意して声を掛けていく。</li> </ul>  |
| 2年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動に楽しみながら、前向きに取り組んでいる児童が多く見られる。自分の作りたいものを見通しをもち、工夫しながら作品作りに取り組めるが、どのような作品にするか、悩んでしまう児童も若干見られる。<br/>【関心・意欲・態度】</li> <li>・クレヨン、はさみ、のりの使い方を正しく身に付けているが、水彩絵の具の使い方個人差が見られる。<br/>【技能】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を使って作品例を見せることで、作品の完成イメージを想起させる。</li> <li>・ICT機器を使いながら、水彩絵の具の使い方を視覚的に理解できるように提示し、きめ細かく指導を行う。</li> </ul>  |
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間のめあてをもとに、児童一人一人がすすんで表現活動に取り組んでいる。</li> <li>・9割以上の児童がすすんで準備・片付け等に取り組んでいるが、気持ちの切り替えがうまくいかず、時間がかかってしまう児童もいる。<br/>【関心・意欲・態度】</li> <li>・豊かな発想で表現する児童は多いが、作品をよりよくするために工夫できる児童は少ない。<br/>【発想】</li> <li>・意欲が高く、題材に応じて道具を使い分けて取り組む児童は多いが、集中しすぎるために、周りの児童への気遣いや、安全面での配慮が必要な児童もいる。<br/>【技能】</li> <li>・作品鑑賞では、作品のよさに気付き、自分の思いを発表できる児童が多い。<br/>【鑑賞】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の一人一人の主体性をより一層伸ばせるように、個々の作品を称賛する場を設定する。また、ICT機器を活用して電子黒板に作品を投影し、造形的なものの方方や考え方を提示していく。</li> <li>・時間の意識をもたせるために、電子黒板にタイマーで時間を示し、声掛けを行っていく。・題材に応じて参考作品や称賛できる児童作品を提示し、どういったところがよく表現できているか等、工夫のポイントを示す。・できるだけ多くの道具に触れさせ、教師の示範を全体で押さえた上で、正しい道具の使い方を場面ごとに指導していく。</li> <li>・自己肯定感を高めるために、個々の作品を称賛する場の設定を多くする。</li> </ul> |

|           |   |   |
|-----------|---|---|
| <p>4年</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間のめあてをもとに、児童一人一人がすすんで表現活動に取り組んでいるが、題材によっては集中力が続かない児童もいる。</li> <li>・8割以上の児童がすすんで準備・片付け等に取り組んでいるが、気持ちの切り替えに時間がかかってしまう児童もいる。 【関心・意欲・態度】</li> <li>・豊かな発想で表現する児童は多いが、作品をよりよくするために工夫できる児童は少ない。 【発想】</li> <li>・意欲が高く、楽しんで題材に取り組める児童が多いが道具の使い方等、技能面で個人差がある。【技能】</li> <li>・作品鑑賞では、互いの作品を見て、よさや面白さに気付き、伝え合う姿が見られる。</li> <li>・作品のよさや面白さには気付いているが、どのように伝えればよいか分からない児童がいる。 【鑑賞】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童のもつ主体性をより一層伸ばすために、使用道具を充実させ、個々の表現活動の幅が広がるよう安全面に配慮して取り組ませる。また、集中力が続かない児童には、個別に指導・支援する。</li> <li>・今後もすすんで準備・片付け等に取り組めるよう、班ごとに分担を決め、具体的な指示を出す。</li> <li>・参考作品や完成度の高い児童作品を電子黒板に提示し、工夫したポイントを押さえる。</li> <li>・使用道具を充実させ、教師の示範や安全に使うためのポイントを押さえ、個別に指導する。・鑑賞の時間を充実させるために、班ごとに作品の鑑賞を行い、意見交換させながら、発表の場を設定する。また、見本となる文型を提示し、自分の思いをどのように伝えたらよいか、個別に指導する。</li> </ul> |
| <p>5年</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲が高く、楽しんで表現できる児童が多い。</li> <li>・準備・片付け等、協力して取り組む姿が見られる。 【関心・意欲・態度】</li> <li>・新しい題材への反応もよく、自分なりの表現方法を見つけて取り組む児童が多い。 【発想】</li> <li>・表現したい思いはあるが、どのように表現してよいか分からず、取り組みに時間のかかる児童が1割程度おり、技能面で個人差がある。 【技能】</li> <li>・作品の鑑賞を通して、よさや面白さに気付く児童は多いが、どのようなところがよりよいのか等、具体的に捉えられる児童は少ない。 【鑑賞】</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持できるよう、環境整備を充実させる。</li> <li>・全体の場で称賛する機会を多く設定し、表現方法の幅を広げられるようにする。</li> <li>・道具の使い方、制作の進め方等、個別の支援を行う。</li> <li>・鑑賞のポイントを押さえ、作品の造形的な美しさやよさの具体的な視点を電子黒板に投影して示す。</li> </ul>  |
| <p>6年</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲が高く、集中して取り組む児童が多い。</li> <li>・8割程度の児童は準備・片付け等、進んで取り組んでいる。 【関心・意欲・態度】</li> <li>・題材説明の理解に個人差があり、造形的な創造活動の深まりに個人差がある。 【発想】</li> <li>・題材の意図を捉え、創造力を働かせて自分なりの表現方法で取り組む児童が多い反面、道具を上手く使いこなせず、技能面で課題のある児童がいる。 【技能】</li> <li>・作品の鑑賞を通して、造形的な美しさやよさに気付く児童は多いが、どのようなところがよりよいのか等、具体的に捉えられる児童は少ない。 【鑑賞】</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持できるよう、環境整備を充実させる。</li> <li>・すすんで準備・片付け等できるように的確な指示、支援を行っていく。</li> <li>・児童の見本となる作品や参考作品を提示し、造形的なものの方や表し方を押さえながら、表現方法の幅を広げられるようにする。</li> <li>・道具の使い方、制作の進め方等、個別の支援を行う。また、技能的な表現については、手本を示し、感覚的に捉えられるようにする。</li> <li>・「見る視点」を明確に提示して鑑賞活動を行う。また、見本となる作品を電子黒板に投影し、どのようなところがよりよいか等、具体的に示す。</li> </ul>   |